

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE



CAR No.34



中西 慶佑

アルビメイクウィナーEDGIA

2013/6/1

スーパーFJ 富士シリーズ 第 3 戦

CAR No.35

Beyond

福島 政也

アルビデジャヴビヨンド GIA

CAR No.36

M.I.D Japan Inc.  
Mitsui Impres Development

太田 達也

玉三郎 ED アルビ RT 岩本 10V

CAR No.37

MAKE  
WINNER

神村 悠太

メイクウィナーアルビ岩本 ED

6月1日(土) 予選・決勝

1 LAP=4.563km

出走：13台

天候：晴れ コース：ドライ

気温：22℃ 湿度：28% 路温：34℃

予選結果：太田選手 5位

神村選手 7位

中西選手 8位

福島選手 10位

決勝結果：太田選手 4位入賞

神村選手 6位入賞

中西選手 7位

福島選手 8位

太田選手、神村選手によるダブル入賞！

#### ■6月1日(土) 予選

8時30分予選開始。開幕2連勝している太田選手の後を追って走行し良い時計を出そうと、上位候補の選手がなかなかコースインしない中で、太田選手がついにコースイン。途中まで3番手タイムをマークしていたが、予選残り約3分の間に5番手に後退、3戦連続ポールポジションはならなかった。

神村選手、福島選手はそれぞれ自己ベストを更新し7番グリッド、10番グリッドを獲得。2戦ぶりの出場となった中西選手は8番手となった。

#### ■6月1日(土) 決勝

12時10分決勝スタート。スタート直後から太田選手は4番手車両に引っかかってしまいう格好となり、その間に1位、2位、3位車両が少しずつ差を広げていき、太田選手までの

トップ集団と、2台による6位争い、4台による7位争いを中心にレースは進行。

2周目、ダンロップコーナー進入で4番手がオーバーランを喫すると、このミスに乘じ太田選手が4番手に浮上する。そして3番手との差を少しずつ詰めていく。

太田選手は3周目、ホームストレートでスリップストリームを使い1コーナーで仕掛けるがパスには至らず。その後は1位争いと太田選手による3位争いとの間で徐々に差が開いてゆく。

4周目、再びスリップを使い1コーナー進入勝負で見事インをおさえ3番手に浮上すると、4番手との差を少しずつ広げていき、逆に1位争いの2台との差を縮めていく。しかし、4番手車両もなかなか離れず、再び太田選手との距離を縮めていきながらレースは進行。

するとレース後半ホームストレートでスリップに入られ1コーナーブレーキングで横に並ばれるが我慢して3位をキープ。しかしその後もプレッシャーを受け続け、10周目も1コーナー勝負でかろうじてインをキープしポジションを死守するが、ダンロップでついにインから抜かれ4位に後退、表彰台圏内から外れてしまう。

あきらめない太田選手は11周目ホームストレートでスリップを利用し再び3番手に浮上。ホームストレートでぴったり後ろに張り付かれるも、ファイナルラップ1コーナーのインを制しポジションを守り、ついに最終コーナーへ。

立ち上がり4番手にぴったり張り付かれたまま最後のストレート。スリップに入られていた太田選手はコントロールライン手前で逆転を許し、僅か0.051秒差での4位フィニッシュとなった。

神村選手は上位選手の離脱によりポジションを1つ上げ6位入賞。

中西選手、福島選手は4台による7位争いの中で抜きつ抜かれつの展開を見せ、中西選手が7位、福島選手が0.7秒遅れの8位でチェッカーを受けた。

### ○太田選手コメント

3連勝を狙っていたので、しかも最後の最後でポジションを落としてしまい悔しいです。今回追われる立場になったのを感じたので、この立場になっても勝てるドライバーになれるようがんばります。

### ○福島選手コメント

今回自己ベストを出すことができ嬉しいです。決勝ではバトルが続きましたが、いろいろと経験できたので次のレースに活かしていきたいです。

### ○中西選手コメント

ずっとバトルの展開でしたが、最終的に集団のトップでチェッカーを受けられました。次はもっといい結果を残せるようにがんばります。

### ○神村選手コメント

なかなか 5 番手車両をとらえることができずにレースが終わってしまいました。入賞できて嬉しいです。最低でも入賞を続けられるよう、もっと練習していきたいと思います。

### ○中村監督コメント

太田選手に関しては今回厳しいレースになりました。追う側から追われる側になり本人もかなりのプレッシャーを感じていたようです。予選・決勝と微妙にセットを変えましたが、総じて 0.5 秒ほど詰める事ができませんでした。

しかし、決勝では果敢にアタックをかけ、表彰台をかけ 3 位争いを展開していましたが、最終的にゴールライン手前で僅差の 4 位になってしまいました。今回の状況の中ではベストを尽くしたと思います。

神村選手・福島選手はようやく本来のレーシングドライブになってき、兩人とも自己ベストを更新したので次回に期待が持てます。

中西選手は新人ということもあり、これからどんどん記録が伸びると思います。

今回太田選手が 4 位になりましたが、シリーズポイントランキングではまだ 1 位を死守しております。シリーズチャンピオンが取れるようチームとして努力しますので今後とも応援のほど宜しくお願い致します。







**P PLUS** Nankai Plan Co.,Ltd.

**鈴木会計**  
埼玉・川口  
<http://www.tkcnf.com/sds>



**Moty's**  
www.liberty-technology.com

**新潟日報**

**MOTOR FREAK**

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ